

緑化だより

No.202 令和6年3月号



ヒトリシズカ

- 季節の花(ツゲ(黄楊))
- 水生昆虫の話
(オオクママダラカゲロウ)
- 小さな世界こけ(スズゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 緑化の未来

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ツゲ(黄楊)

「君なくは なぞ身装(よそ)はむ 櫛笥(くしげ)なる

黄楊(つげ)の小櫛(をぐし)も 取らむとも思はず」

播磨娘子(はりまのをとめ) 万葉集 卷9-1777

これを訳しますと

(あなたがいらっしゃらなかったら、どうしてわが身を装いましょう。

化粧箱に大切にしまふ黄楊の小櫛も 手に取ろうとは思いません)

石川太夫(まえつきみ)が、任期を終えて奈良の都へ帰るときが決まり、別れの時、親しくしていた地元の女性が詠いました。

古くから櫛は魂の宿る頭に飾るものであることから、別れや旅立つとき、大事な人に自分の分身として手渡されたこともあるほど、真心のこもるもので大切にしなければなりませんでした。

ツゲはツゲ科ツゲ属で、本州中南部(山形県、宮城県以南)、伊豆諸島、四国、九州の石灰岩、蛇紋岩地に自生する常緑低木で樹高 2~3m になります。葉は対生し、花期は 3~4 月頃で淡黄色の小さな花が咲きます。果実は約 1 cm の楕円形です。

別名はホンツゲ(イヌツゲに対して)、アサマツゲ(三重県伊勢市の朝隈山に多い)と呼ばれています。

ツゲの産地は伊豆諸島、鹿児島県が有名です。広島県では西部の花崗岩地帯の河川岩上に生育し、個体数は多くありません。沖縄県には葉の大きいオキナワツゲがあります。

また、石灰岩地帯に自生しているチョウセンヒメツゲはツゲに比べると葉が小さく、若枝や花序に微細な毛がありますが、毛の量が少なく今後の検討を要するとのこと。これは広島県の準絶滅危惧種に指定されています。広島市平和大通りには、葉の幅が広くて丸みが強く寒さに紅葉して色づいているセイヨウツゲ(ヨーロッパツゲ)が街路樹として植栽されています。

写真はヒメツゲで、まれに自生もありますが、葉が細長く、庭園に植栽されています。

ツゲは成長が遅いため年輪の幅が狭く材はきめが細かく弾力があり、黄色い滑らかな色で、つげ櫛、将棋の駒、印鑑、根付け、そろばんの玉などに用いられます。つげ櫛は古くから、使えば使うほどつやが出ると言われて母から娘へと大事にされて受け継がれるほどの貴重なものであったそうです。「薩摩のつげ櫛」が鹿児島県の伝統工芸品に指定されています。(上村)



ツゲ



ヒメツゲ

水生昆虫の話

オオクママダラカゲロウ

春になると羽化する水生昆虫がいろいろいるため、この時期になると終齢幼虫になっている種も多く、とても観察しやすくなります。

そんな中でも、北海道～九州にかけて広く分布しており、河川の中流から上流域にかけて比較的広い範囲で観察することのできるカゲロウの一種、トウヨウマダラカゲロウ属の「オオクママダラカゲロウ」をご紹介します。

マダラカゲロウの幼虫と言えば、その特徴として円筒形で比較的がっしりとした体格があげられます。ちょっと強そうな見た目、水の底とガシガシといった感じで歩いて移動する姿は、なんだか堂々としたイメージ。また、水中を泳ぐ姿は体を少し丸めて大きく前後に動かし、揺さぶるようなダイナミックな感じです。

幼虫の体長約 13 mm 前後で、体色は黒っぽくて背中に白い縦線のある個体や、縦線のない黒っぽい個体、赤っぽい個体など様々です。同じ属のクロマダラカゲロウとよく似ているのですが、3本ある尻尾の先のあたりに長い毛が生えているのがオオクママダラカゲロウ特徴です。

生息場所は、比較的流れが緩やかなところで、石や流木、落ち葉などの裏側や隙間などで、主に藻や落ち葉などを食べています。ちなみに写真の個体は落ち葉や小枝などが引っ掛かっている小石の多い場所で捕獲しました。

春になると羽化が始まるので、ちょうど今頃が終齢幼虫の観察ができる絶好のチャンスなので、川の水は冷たいですが、ご興味のある方はぜひ気を付けて探してみたいでしょうか。羽化の時期は3月から4月あたりまで続き、日中水面羽化します。成虫になるとほかのカゲロウとよく似た姿になります。(西村)



オオクママダラカゲロウの幼虫

小さな世界 こけ

スズゴケ

山地などで比較的まれなコケで、主に樹幹に着生していますが、石灰岩でも見ることがあります。緑化センターでは出合いの広場のコンクリート壁で見られます。

一次茎は樹幹やコンクリート壁などを這い、そこから二次茎が不規則に出ています。二次茎は乾燥すると弓なりに反りかえります。

葉は卵形～披針形で、表面はくぼんで縦にしわがあり、葉先は短く尖ります。雌苞葉からわずかに出る孢子体の柄は約 2 mm と短く、孢子のう(蒴)は約 1.2 mm で褐色をした円筒形です。

若い孢子のうは保護する帽をつけますが、帽には長い毛があり、学名 フォッシュトローミア トリコミトリア *Forsstroemia trichomitria* の種小名 *Tricho*(毛) - *mitria*(帽)は、この特徴からつけられています。因みに属名はスウェーデンの牧師で博物学者であった J.E. forström(1775～1824)を記念したもので、ツンベルグ *Thunberg* の教えを受けています。(山根)



スズゴケ



スズゴケの孢子体



スズゴケの帽

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○ 3月 2日(土) 『早春のバードウォッチング』
散策しながら野鳥を観察します
※自由参加・無料 双眼鏡持参 雨天中止 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟
三次地方分会事務局長
衛藤 慎也 |
| ○ 3月 3日(日) 『針葉樹の見分け方』
室内で実物の葉っぱを見て、特徴や見分け方を学ぶ
※自由参加・無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室集合
講師：森林植物研究者
埜田 宏 |
| ○ 3月 6日(水) 『コケの観察会』
室内で基本を学んだあと、屋外で観察します。
※自由参加・無料 ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 3月 14日(木) 『3月の自然探勝』
散策しながら植物を観察します
※自由参加・無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林植物研究者
埜田 宏 |
| ○ 3月 25日(月) 『早春の自然探勝』
樹木の冬芽と早春の植物を観察します
※自由参加・無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 3月 25日(月) 『裸子植物と被子植物
どこがどう違うの?』
※自由参加・無料 | 13:30～15:00 学習室 集合
コーディネーター：森林インストラクター
駄賀 恒男 |

☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

- ・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2024 春 3月 9日(土)～5月 19日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット！
さくらクイズに答えて景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約 60 種類が楽しめます。
- ・さくら祭り お楽しみイベント 4月 7日(日) 10:00～15:00
場所:レストハウス前広場
- ・第4回ピクニックウォーク 3月 31日(日) 10:00～15:00
県緑化センター～市森林公園を“学び”・“遊び”ながらウォーキング
※要 申し込み(問合せ・申込先;森林公園 TEL 899-8241)



◎ 展示会

場所: レストハウス
(ボード展示)

- ・緑化センターの桜写真展 3月 18日(土)～4月 16日(日)